

平成24年6月第8回教育委員会定例会

【日 時】平成24年6月26日(火)午後2時00分～午後4時10分

【場 所】北栄町役場大栄庁舎 第4会議室

【出席者】吉田助三郎委員長・河本恒夫委員長職務代理者・斎尾暁美委員・磯江典子委員・岩垣教育長・田中教育総務課長・西村生涯学習課長・岩田指導主事・大庭教育総務課室長

【議事日程】

1 会議録署名委員の指名 河本委員、磯江委員を指名

2 行政報告

教育長

- ・学校における漫画への取り組みについて

中学校は本格的に部活動、小学校はクラブ活動でマンガの描き方、図工で描き方を学習している。講師には米子市在住の寺西講師を招いて学習。

- ・6月1日東伯地区教育委員会連絡協議会の開催について

- ・6月12日～20日6月北栄町議会定例会について

一般質問、教育委員会関係は別添の資料による。

- ・6月19日差別をなくする総合計画の見直し審議会の開催について

審議会の発足、協議。意識調査の実施6月25日発送済み。

- ・6月21日北条小学校美術入門について

油絵等の学習、前田寛治の絵を見て実際に体験学習。キャンバスに実践。

- ・6月25日～7月9日県教育委員会学事訪問について

講師の学習参観、特別支援学級の取組み及び書類の確認。

- ・6月22日～25日校長面談について

教員の指導力の取組み。小中高連携の取組み。互いの授業の質、授業経営を通して高める取組み。北条中は、県事業 少人数学級の取組み。従来の取組みではだめ。きめ細かな授業への取組み。

- ・7月1日すいかながいもマラソン大会について

- ・7月6日県教育委員会連絡協議会の開催について

- ・7月8日～東伯郡民体育大会について

(質問) まんがの取組みは今年度のみに限るのか。

(回答) まんが博に合わせて県も講師を派遣している。来年度以降は通常の授業で行う。

(質問) パソコンで取り組むことは興味がわく。北条小はTCCで流れていたが、何回かやっているのか。

(回答) いずれの学校も何日か計画的に実施している。町民有志で組織しているまんが寺子屋委員会と協力しながら行っている。

(質問) 校長面談は計画訪問と中身が違うのか。

(回答) 違う。各校長とも3年以上赴任し、それぞれの学校経営に特徴が出てきた。

(意見) 逆に言うと教頭の色が消えてきた。きれいに仕事をしている。

(回答) 教頭の立場もあり、裏方的な部分が多い。管理職であるが校長の補助や教員のまとめが主な業務となっている。

(意見) 校長が一步前へ出ている。リーダーシップはいいが前面に出すぎると教員が考えなくなるなど育たない。

(意見) 教頭や教員の伸びを抑えてしまう懸念がある。このことは学校が沈滞化してしまう可能性がある。

(質問) 副校長はどういうものか。

(回答) 大規模校に配置するもの。特定の教員がいたからではなく、学校で子どもを育てていくように教育連絡会では確認している。

(意見) 指導力は何かを突き詰めると教頭を育てていくことが大切である。

(意見) 小中高連携の取り組みについては、相手があり難しい取り組みと考える。簡単にできるものではないとの認識に立って、十分練ってから取り組みを進めるべき。

(意見) 外部評価のわくわく職場体験学習は「D」評価だが、子ども達の行きたい職場がないのではないか。

(回答) 外部評価を受け、職場体験学習が子どもの社会性を学習する上で重要なことから、原点に戻り、職場体験の取り組みを教育委員会と学校で見直し取り組むこととしている。職場探しについて、保護者も巻き込んで選定することや、商工会に協力を依頼している。商工会も好感触である。実施時期も大栄中においては、準備もあることから6月実施を9月実施に変更する。

教育総務課長

- ・ 計画訪問の実施について
- ・ 同日公開参観日の実施について

(質問) 町幼研における3歳児保育士の研修についてはどうか。

(回答) 従来のように指導主事の指導を受けてではなく、自分たちで考えて授業の運営を行っていくようにした。意識改革を進めて行きたい。

生涯学習課長

- ・ 第1回人権同和教育推進指導員会議について
- ・ 第1回部落解放文化祭実行委員会について
- ・ 第1回社会教育委員会・公民館運営審議会について

- ・「人権擁護委員の日」街頭啓発について
- ・「北栄町部落問題をはじめあらゆる差別をなくする総合計画」審議会の開催について
- ・イカダレース大会第5回実行委員会について
- ・マラソン大会実行委員会について
- ・工事等の発注について
 - (質問) 人権擁護委員の人はどのようなものか。
 - (回答) 委員の仕事を周知する目的。相談日等を合わせて周知。
 - (質問) 解放文化祭の副委員長はだれか。
 - (回答) 東亀谷自治会長、中江文化センターの館長。
 - (質問) 議員は自治会長にはなれないのか。
 - (回答) 議会基本条例により原則自治会長にならないよう通達がされている。

3 議 事

議案第48号 北栄町外国語指導助手住宅家賃費補助金交付要綱の一部を改正する要綱の制定について

原案のとおり承認。

議案第49号 北栄町外国語指導助手通勤費補助金交付要綱の一部を改正する要綱の制定について

原案のとおり承認。

議案第50号 北栄町一時保育事業実施要綱の一部を改正する要綱の制定について

(質問) 対象者は子ども園入園者以外の方が対象か。

(回答) 入園者以外の方が対象。例えば、一時的に帰省され滞在される方や子育てからリフレッシュされる方などが対象となる。

原案のとおり承認。

議案第51号 幼保護・準要保護児童生徒の認定について

(質問) 給食費の支払いを児童手当引き去り出来ないのか。

(回答) 出来るが現在の取り組みは、児童手当を支払う前にあらかじめ滞納者と電話等で話をして、児童手当の支払い日に滞納分の支払いをしてもらっている。準要保護等の就学援助費については、規則で目的外使用の禁止が規定してあるほか、滞納者については、個人に支払わず、学校を通じて支払うことにより、滞納の精算を行っている。

原案のとおり承認。

議案第52号 区域外就学について

原案のとおり承認。

4 報 告

- ・平成24年6月北栄町議会定例会一般質問等について
- ・平成24年度サマースクール～まなびの広場～について
 - (質問) 県の事業でやっているのか。
 - (回答) 住民生活に光をあてる交付金事業で実施している。今年度で2年目の取り組みである。昨年度の反省を踏まえて、午前中の40分、10分休憩、40分で行うこと、図書室の近い会議室で行うこととしている。また講師の先生を広く募集することとしている。
 - (質問) 定員40名となっているが、定員で締め切るのか。
 - (回答) 目安であり、受け入れる方向である。
- ・平成24年度教育行政評価委員会(外部評価)評価項目について
 - (質問) 項目はどうやって決めたのか。
 - (回答) 評価委員会を開催し、過去の評価との比較、来年度事業への評価の反映、長期的な事業の評価など委員会で協議し決定した。
 - (質問) 長期的にはどうか。
 - (回答) 評価が悪いものを含め、継続している事業、教育ビジョンに合致しているかなど長期的な視点での評価も行う。
 - (意見) 漏れが怖いので、十分確認しながら行うことが必要。
 - (回答) 教育ビジョン、事業の見直しが必要となってくる。
- ・原・瀬戸自治会生徒の通学路の取り扱いについて
 - (意見) 不審者については、保護者や地域など自分たちで見守ることが必要である。
 - (意見) 六尾北団地の入り口は危険な個所である。通学路ではないが注意喚起が必要。
 - (意見) 先般、現地を確認したが、保護者も実際に歩いてみたら危険度が分ると思う。学校も同様である。

5 その他

- ・平成24年度鳥取県市町村教育委員会研究協議会定期総会・研究大会について
- ・次回教育委員会 定例会 7月31日(火)午後1時30分から